

産地戦略

実施期間 令和8～12年度

実施主体 北上地方農業振興協議会
都道府県 岩手県
対象地域 北上市
対象品目 トマト



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

岩手県内陸部の北上市では、夏秋どり作型の施設果菜類（トマト）の産地であるが、コナジラミ類の発生が問題となっている。本害虫は、吸汁被害だけでなくウイルス病を媒介するため、地域慣行の防除体系では、化学農薬を用いた定期的な防除が実施されている。一方で、本害虫は薬剤抵抗性が発達しやすいことから、化学農薬に代わる防除技術の導入が求められている。

そこで、紫外線カットフィルムを設置し、外部からの害虫の侵入を物理的に遮断する技術について検証し、みどりの食料システム戦略における化学農薬使用量削減を目指す。

また、近年、夏期の高温によりハウス内温度が上昇し、作業性の低下及び高温障害の発生が懸念されていることから、環境モニタリング装置を設置することによるハウス内の温度調整及び環境条件把握の省力化を目指す。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	トマト			収穫									
害虫防除	▲ 殺虫剤散布時期												R5トマト防除暦より
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲				



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	トマト			収穫									
紫外線カットフィルムによる害虫の侵入抑制の検証	定植前に紫外線												
	ハウス開口部から、コナジラミ類など害虫の侵入を防ぐ効果												
モニタリング装置によるハウス内環境の把握省力化	モニタリング装置												
	測定データは、日々の栽培管理に活用												
	リアルタイムにハウス内温度など栽培環境を把握し、見回りの省力												
害虫防除	▲ 殺虫剤散布時期												殺虫剤の成分使用回数の削減
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲					

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	2.2	▶ 2.2	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.03	▶ 0.18	紫外線カットフィルム＋環境モニタリング装置
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.03	▶ 0.18	紫外線カットフィルム
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.03	▶ 0.18	環境モニタリング装置

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学農薬のみの防除	▶ 紫外線カットフィルムの設置による害虫の侵入抑制	化学農薬の使用回数の削減
省力	毎日見回り	▶ 遮熱資材及び環境モニタリング装置によるハウス内温度調整及び環境条件の把握の省力化	ハウス内温度確認作業の省力化

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	殺虫剤の成分使用回数	13	▶ 10	モスピラン顆粒水溶剤 3 回 ⇒ 1 回 アファーム乳剤 1 回 ⇒ 0 回
省力	ハウス内温度確認及び環境条件把握のための見回り回数	1日複数回	▶ 1日1～2回	見回り回数（1 ～ 2 割程度低減）

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

- ・管内生産者に対し、花巻農協・中部農業改良普及センター等で開催している栽培指導会・勉強会・研修会等で、グリーンな栽培体系の取組（実証結果）を紹介する。
- ・化学農薬使用量削減については、岩手県農業研究センターの最新の試験研究成果なども参考にしながら、継続して化学農薬に変わる技術の導入や防除暦の見直しなど、化学農薬使用量削減の検討を進める。

関係者の役割

関係者名	実証生産者	北上市	花巻農協	中部農業改良普及センター	花巻農林振興センター
役割	事例紹介時の助言（設置方法、感想等）	・取組事例の紹介、導入推進 ・活用可能な補助事業等の紹介	・取組事例の紹介、導入推進 ・栽培指導会での紹介 ・技術導入状況 ・活用可能な補助事業等の紹介の把握、技術指導	・取組事例の紹介、導入推進 ・研修会、勉強会での紹介 ・技術導入状況の把握、技術指導 ・化学農薬使用量削減に関する情報収集	・取組事例の紹介、導入推進 ・取組の進捗管理 ・技術導入状況の把握・集約 ・活用可能な補助事業等の紹介